

## 【学校長コラム】 たしかな、そして、うれしい成長の姿...

2月も半ばとなり、少しずつ春の気配が近づいて来ました。

先頃、3年ぶりに「なわとび大会(大縄の部)」を開催することができ、学級と縦割り班に分かれて、5分間で跳んだ回数を競いました。

年が明けてから約1か月。業間休みは、毎日なわとびの練習に取り組んできました。学級で力を合わせ、上級生が下級生を教えながら、一生懸命に練習しました。

そして本番...

どの学級も全力で跳びます。会場には、「がんばれ〜！」の音が響きます。

競技ですから、順位は付きます。でも、そんなことにはお構いなく、子どもたちは、仲間との時間を楽しんでいるようでした。

- ・引っかかった友達に、「大丈夫！大丈夫！」と励ます姿...
- ・友達が跳びやすいように、「ハイ！ハイ！ハイ！」「1・2・3、ハイ！」など、友達に合わせてかけ声を工夫する姿...
- ・下級生が入りやすいように、長縄を大きく回したり、背中を押してあげたりする上級生の姿...

そんな姿が、体育館のそこそこに、自然にありました。

一人一人ががんばったから、そして、一人だけではなく、仲間と助け合ってきたからこそ生まれた成長の姿だと感じ、うれしい気持ちになりました。

そして、閉会式。

- ・静かに、視線を向けて、頷きながら話を聴く姿...
- ・語りかけに、元気な声で「こんにちは！」「はい！」と応える姿...
- ・自然と拍手をする姿...

そんな姿がたくさん見えました。これらは、明らかに4月の頃の集会からずいぶんと成長しました。

そんな、たしかな、そして、うれしい成長の姿を見ることができたなわとび大会でした。

